

よく見かける問題のある画像の投稿

インターネットには日々多くの画像が投稿されています。遊びに行った際の記念に撮影したものや、日常生活のひとコマを写したもの、街中や自然の風景を撮影したものなど、その種類はさまざまです。しかし、中には問題のある画像を投稿している人もいます。今回は、インターネット上でよく見かける問題のある画像の投稿についてお話ししたいと思います。

撮影禁止場所で撮影した画像

インターネットによく投稿されるのが、撮影禁止場所で撮影した画像です。撮影禁止となっているコンサートのステージや、上映中の映画館のスクリーンなどを撮影し、SNSなどのサービスに投稿している人がいます。こうした画像を投稿すると、著作権侵害となる恐れがあると同時に、閲覧した人々から非難のコメントが集まる可能性があります。



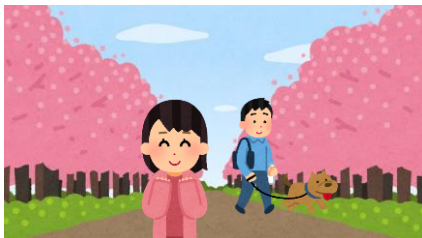
こうした投稿を防ぐためには、撮影対象のイベントや建造物などが撮影禁止になっていないかどうか必ず確認する癖をつける必要があります。

※イベントなどによっては、撮影は許可していても、撮影した画像をインターネットに投稿することは禁止している場合もあるので、注意が必要です。

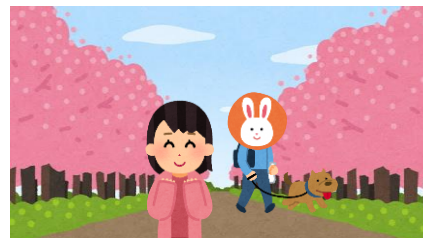
他者が写り込んだ画像

インターネットには、他者が写り込んだ画像が投稿されることがあります。外や店の中などで撮影した画像の背景に、顔がはっきりとわかる状態で他者が写り込んでいることがあるのです。こうした画像を投稿すると、もし対象の人物がその投稿を目にした場合、トラブルに発展してしまう可能性もあります。

周囲に人がいる場所で撮影するときは、他者の写り込みに注意することが大切です。もし他者が写り込んでしまった画像をインターネットに投稿したいときは、スタンプやぼかし、モザイクなどで個人が判別できないように画像を加工する必要があります。



スタンプで、個人が判別できないように加工



インターネットに画像を投稿する前に、その画像が問題のあるものではないか必ず確認するよう、子どもたちに指導していくことが大切です。